



信明の窓

No.11

令和6年3月14日
松本市立信明中学校
教務主任：下島史生

花回廊——卒業式をひかえ、3年生の教室が入る3階廊下は数多のぼんぼんで彩られています。2年生を中心とする生徒会役員が心をこめてぼんぼんをつくり、感謝の気持ちとともに飾りつけをしました。その幻想的な装いは、異空間に足を踏み入れたかのような錯覚さえ感じさせます。



花回廊
100あまりのぼんぼんが
連なり、3階廊下を彩っ
ています

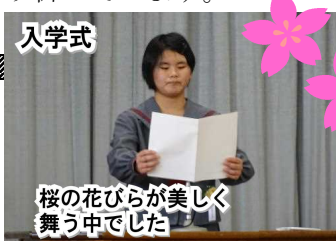
松本の伝統行事「ぼんぼん」を、あるいは伝統的工芸品「松本手毬」を彷彿させる趣きの中、明日3月15日、3年間にわたって信明中学校を支え、後輩を導いてきた3年生117名が、それぞれの道に向かって力強い一歩を踏み出します。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして今まで、本当にありがとうございました。皆さんのこれからのさらなる成長とご活躍を、在校生・職員一同、心より祈っています。

祝★卒業

卒業生、3年間の軌跡

令和3年4月：入学式～新しい出会い、そして挑戦の始まり——『私は、入学式で感じたことが5つあります。1つ目は、緊張でいっぱいになったことです。中学校は勉強も難しくなるし、新しい友達ができるかも、心配になりました。2つ目は、小学校とのちがいです。校舎は広く、きれいだと感じました。3つ目は、ちがう学校の友達がたくさんいて驚きました。早く仲良くなれたらいいなと思いました。4つ目は、授業で覚えることがすごく増えそうだと感じました。集中して先生の話の聞かなければと思いました。5つ目は、新しいクラスです。私は2組になりました。いいクラスにできたらいいなと思いました。』



入学式

桜の花びらが美しく
舞う中でした

7月：高遠フィールドワーク～いざ、大自然へ——『オリエンテーリングはいきなりの坂道で、男子はすいすい行ってしまいましたが、私は少し大変でした。汗だくになってゴールした時は、疲れてはいたけれど、達成感の方が大きかったです。そのあとは、野外炊飯です。各班しっかり分担して協力している姿がたくさんあって良かったです。カレーもたくさんの班から「おいしい!」という声が聞こえてきました。初めての大きな行事でしたが、みんなで楽しめて、笑顔もたくさん見られたので、良いフィールドワークになったと思います。』



希望を胸に新生活スタート!!

10月：初めての飛翔祭～星彩：自分がもつ光を輝かせろ——『信明ジャンプ。初めて迎える飛翔祭で、最高に本気になれた瞬間でした。大縄の回し手を決める時、「ここでおれがやらずに誰が」と、必死で手を挙げました。跳ぶのが苦手な自分は、回すことでクラスの役にたちたからです。当日、信明ジャンプが始まるとみんなの目が真剣なものに変わりました。自分は少し笑いました。それが嬉しかったからです。軍手をはめ、全員と息を合わせ、縄を大きく回し始めました。みんなが次々と入って、引っかかっても諦めず、自分は腰を低く構え続け…22回。これが、今年の自分たちの最高の実力でした。みんな、笑っていました。仲間と喜びを分かち合えることが、どれだけ楽しく嬉しく温かいものか、改めて知ることができた飛翔祭になりました。』



1年：高遠フィールドワーク
大自然を満喫しました

令和4年7月：進級～そしてキャリアアップinハケ岳——『私にとって inハケ岳は、農業への関心を深めるきっかけになったと思います。中でも、心に残っているのが「野菜のワークショップ」です。摘果したトマトを捨てずにピクルストマトに加工するSDGsの取り組みや、私たちも消費者として農業を支える存在になっていることを学びました。私はハケ岳での2日間を通して、どこか遠い存在に感じていた農業とのつながりを感じることができ、作業を通して得られた達成感など、農業の面白さをたくさんみつめることができました。』



野外炊飯！
カレーをおいしく
いただきました



1年：飛翔祭
信明ジャンプ



2年：キャリアアップ
inハケ岳

林業体験

9月：二度目の飛翔祭～輝石：飛翔！思い出の一片——『新しいクラスで臨む二度目の飛翔祭。心に残ったのは信明ジャンプでした。本番は一発勝負なので、5分間にみんなが一致団結しなければなりませんでした。なかなか結果が出ない中、最後の1分間に全てをかけ、一人一人が最高のかけ声を出し、ジャンプをしました。気持ちがひとつになり、目標だったクラスの最高記録を出すことができました。クラス替えがあり、初めはまとまることのできるだろうかと思っていたけれど、一人一人の個性がつぶされることなく上手にまとまり、一致団結することができました。飛翔祭、大成功——！』

令和5年4月：修学旅行～4年ぶりに奈良・京都へ——『私たちは4年ぶりに奈良・京都へ修学旅行に行くことができました。1日目の奈良では、法隆寺や東大寺に行きました。ガイドさんの本場の関西弁を聞くことができました。2日目の班別行動では、伏見稻荷大社や三十三間堂へ行きました。鳥居や仏像の迫力がものすごかったです。3日目はクラスで金閣や天龍寺に行き、帰りのバスでは歌を歌いまくりました。何をやっても皆で盛り上がり、このクラスで良かったと思いました。今回の修学旅行を支えていただいた先生方や保護者の皆様のおかげで、3年間で一番の思い出を創ることができました。』

10月：最後の飛翔祭～十人十色：見つけよう、僕たちだけの色——『学年合唱は「正解」でした。学年の8割以上の得票で決まった曲です。しかし、この曲はすごく難しく、苦戦しました。でも、自分たちで選んだ曲であり、最後の合唱だから、全力で練習しました。本番では、練習の成果を存分に発揮して歌いました。ぼくは歌っている最中に鳥肌が立ちました。卒業式までは泣かないと決めていましたが、涙目になってしまいました。特にサビでは歌声が全体に響き渡り、圧巻でした。3学年の合唱が「正解」で本当に良かったと思います。最初は難しいと言われていたけれど、諦めずに練習してきたからあれほどの合唱になったのだと思います。最後の音楽会、そして飛翔祭は、涙あり笑いありの一生忘れられない最高の思い出になりました。』

3月13日には、全校が集まって3年生を送る会を開催しました。2年生による生徒会が計画を立て、1・2年生からの発表や先生方からのメッセージで、3年生の卒業を祝福することができました。

何よりも、全校で合唱した「旅立ちの日に」が、文字通り3年生の旅立ちに、大いなる勇気を与えたと思います。

3年生の3年間の歩みが十人十色の色彩となり、進むべき一人一人の道を鮮やかに染め上げていくことを願っています——。

本日3月14日、明日の卒業証書授与式に先立ち、3学期終業式・離任式を行いました。終業式では、学年から1名ずつ所感を発表してもらい、3学期や1年間のまとめをしました。ありがとうございました。

また、本校校長先生より、次のようなお話を頂きました。『皆さんは若く、若い皆さんの脳は圧倒的な柔軟性をもっています。脳を鍛えるのは、今です。そのために必要なことは、多くの人と接することです。例えば、授業ではグループ活動を取り入れ、様々な意見交換を通して考えを深め合ってきたと思います。また、飛翔祭の体育祭や音楽会に向けても、クラス目標を達成するために、たくさんのアイデアを出し合って、チームとして取り組んだと思います。幅広い考え方や見方を手に入れ、脳を柔軟に使えるようにするためにも、多くの人と関わりながら、チーム力を高めていくことが大切です。さて、これより春休みに入ります。春休みには、1・2年生は進級に向け、3年生はそれぞれの進路に向けて、1年間(3年間)の学習を見直しておきましょう。始業式で話した良質な睡眠も心がけてください。』



3年生が披露してくれた合唱「さくら」が、美しく体育館に沁みわたりました。

◆第39回信明中学校卒業証書授与式



保護者の皆様、地域の皆様、1年間にわたり、信明中学校の教育活動を支えていただき、誠にありがとうございました。不透明な社会情勢が続く中、卒業式を迎えることができましたのも、皆様によるご支援・ご協力があったことと、心より感謝申し上げます。